

まるもりまち こうや 丸森町耕野地区 ころ柿づくり参加者との 意見交換会・交流会を開催しました

宮城県では、平成25年から平成28年までの4年間、中山間地域等の農作業を支援する「集落支援事業」として、大河原管内の七ヶ宿町干蒲・丸森町筆甫・丸森町耕野の3地区で援農ボランティア活動の支援を行ってきました。これまでの参加者は、4年間で延べ約600人となり、各地域では、この活動を通じて特産品の生産継続や、東日本大震災による風評被害の払拭に取り組んできました。

そして、平成29年度からは「農山村集落体制づくり支援事業」として活動地域を宮城県内全域に拡大し、中山間地域に限らず、農山村集落の活性化に向けて支援を行っています。



平成30年2月4日(日)、丸森町耕野地区で意見交換会が開催されました。これは、11月に行われた「ころ柿(干し柿)づくりのお手伝い」に参加した方を対象に開催されたもので、ボランティアのお礼を込めて、お母さん方手作りのごはんやころ柿が振る舞われました。

耕野まちづくりセンター大槻事務局長よりご挨拶。



2つのグループに分かれ、援農ボランティア参加者と受入れ農家で意見交換。

参加して・受入れて良かったこと、今後の要望や改善点について、意見を出し合い、グループごとに発表も行いました。



意見交換会の後は、みんなで昼食を食べながら交流タイム！お母さん方の手料理や特産品がふるまわれ、美味しいご飯を食べながら、久しぶりの再会にとっても盛り上がっていました。



参加者へのお土産には色鮮やかなころ柿も！



意見交換では、農家さんから「作業がはかどった、即戦力になっている」等の声をいただき、参加者からも「ころ柿づくりの手間ひまを知れて良かった、柿がなっている景色に癒やされた」という意見を多くいただきました。

要望としては、平日の受け入れや宿泊付きの活動等があげられ、もっと支援したいという参加者の思いが伝わってきました。

耕野地区は、リピーターも多く、援農を通じて継続的な関係を築いています。中には、ころ柿の作り方を教えてもらって自分の家で作ってみたという方も多く、「ころ柿ファン」の増加にもつながっています。

この活動を機に、丸森町耕野地区の自然や、農産物に関心を持っていただき、また足を運んでいただければ幸いです。

この活動は、宮城県の「農山村集落体制づくり支援事業」の一環として行っており、宮城県ではこれからも農村集落や中山間地域の持続的発展を支援して参ります。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。

宮城県大河原地方振興事務所農業農村整備部